

平成 23 年度 神奈川県社会環境実態調査結果（概要）

1 調査の趣旨

この調査は、青少年の健全育成に影響の大きい各種営業の実態を明らかにし、青少年行政を進める上での基本データを収集することにより、地域の青少年を取り巻く社会環境の健全化の取組に役立てるため、県と市町村が連携して行っているものです。

平成 23 年度は、カラオケボックス、インターネットカフェ・まんが喫茶、書店を対象とし、主に 7 月から 9 月までの期間に、地域の青少年指導者や行政職員が店舗を訪問して調査を行いました。

2 主な調査結果

- カラオケボックスについては、調査店舗 313 店のうち「24 時間営業」の店舗が 1 割を超え（11.5%）、増加傾向にあります。また、条例で定める「18 歳未満深夜立入禁止の表示」は、ほぼすべての店舗（97.8%）で実施されています。
- インターネットカフェ・まんが喫茶については、調査店舗 121 店のうち「24 時間営業」の店舗が 96.7% で大半を占めています。条例で定める「18 歳未満深夜立入禁止の表示」は 92.6% の店舗で実施されていますが、表示を行っていない店舗が 7.4%（9 店）あり、前年より 5.0 ポイント増加しました。努力義務である「フィルタリング措置」も、引き続き 4 割程度（40.5%）の実施率にとどまっています。
- 書店については、有害図書類の取扱いのある 180 店のうち「区分陳列を行っている」店舗は約 8 割（79.4%）で、前年度より 8.0 ポイント増加しました。「18 歳未満への販売・閲覧禁止の表示」も 8 割台（87.8%）となり、区分陳列と併せて年々改善される傾向にあります。

3 カラオケボックス調査結果

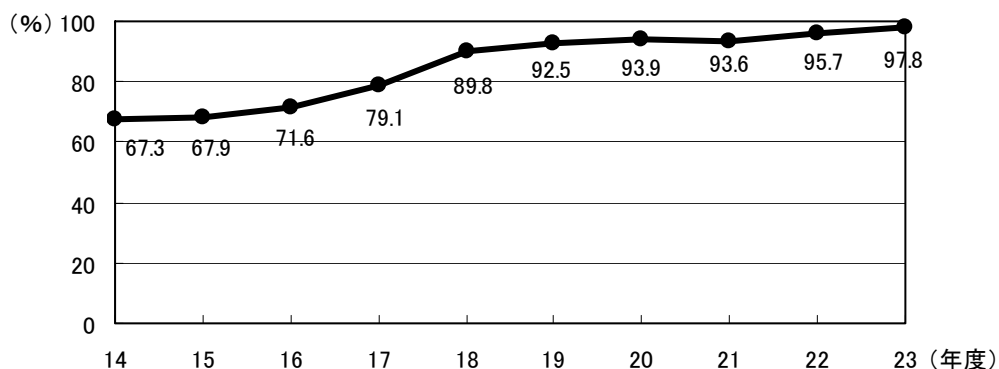
（平成 2 年調査開始）

■ 調査実施店舗数 313 店

■ 主な調査項目

項目	調査内容	店舗数	割合	22 年度	21 年度
営業時間	23 時までに閉店	9	2.9%	3.6%	2.1%
	23 時以降閉店	268	85.6%	86.9%	92.7%
	24 時間営業	36	11.5%	9.4%	5.2%
条例に基づく措置	18 歳未満深夜立入禁止の表示がある	306	97.8%	95.7%	93.6%
客席の状況	室内が見通せる大きさの窓がある	297	94.9%	97.0%	98.3%
	個室に鍵がない	297	94.9%	96.0%	93.3%

■ 条例に基づく措置「深夜立入禁止の表示」を行っている割合の推移



4 インターネットカフェ・まんが喫茶調査結果

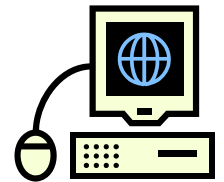
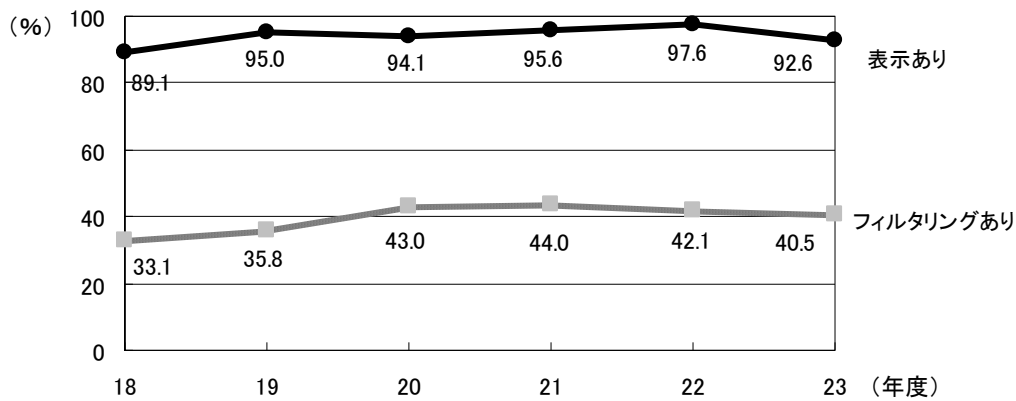
(平成 18 年調査開始)

■ 調査実施店舗数 121 店

■ 主な調査項目

項目	調査内容	店舗数	割合	22 年度	21 年度
条例に基づく措置	18 歳未満深夜立入禁止の表示がある	112	92.6%	97.6%	95.6%
	フィルタリング等の措置をしている	49	40.5%	42.1%	44.0%
客席の状況	ペアシートがある	111	91.7%	92.1%	-
	ペアシート内部が外部から見通せる	83	(74.8%)	75.0%	-
	ペアシート内に鍵がない	106	(95.5%)	91.4%	-

■ 条例に基づく措置「深夜立入禁止の表示」「フィルタリング措置」を行っている割合の推移



5 書店調査結果

(平成 18 年調査開始)

■ 調査実施店舗数 311 店

■ 主な調査項目

項目	調査内容	店舗数	割合	22 年度	21 年度
有害図書類	取扱いあり	180	57.9%	58.0%	62.4%
条例に基づく措置 (有害図書取扱いあり 180 店舗中)	有害図書類の区分陳列がされている	143	79.4%	71.4%	67.5%
	18 歳未満への販売・閲覧禁止の表示がある	158	87.8%	79.1%	80.0%
	有害図書類が外から見える場所に陳列されるサンプルディスプレイがない	158	87.8%	-	-

■ 条例に基づく措置「有害図書類の区分陳列」「販売・閲覧禁止の表示」を行っている割合の推移

